R7年度　実践力向上研修報告～訪問看護における家族支援～

９月３日(水)　北秋田市交流センター　　参加者:7名

研修日は大雨の翌日でした。

前日から開催も危ぶまれましたが、天候も回復し、何とか開催できました。

講師はがん専門看護師として、訪問看護の現場で実践もされている福田麻実さんです。

多重課題を抱えた状況で、在宅での生活を希望される利用者、その家族の情報を紐解き、整理するために

①　医学的現状　②　QOL　③　利用者の意向　④　家族の意向の4側面を意識して捉える事。

グループメンバーでディスカッションをする事で、自分だけでは見えなかった、気づけなかったことに気が付く事。一つの事象に関して、関わる者が違えばそれぞれ違う思いや印象になるという事を体験できたと思います。

【アンケートのご意見】

・今まで訪問看護師の立場が分からなかったのですが、解決できました。ありがとうございます。

・普段の業務の中で壁に当たることもあったため、本日の講義の内容を活かしながら利用者へ寄り添っていきたいと思った。早速明日からの勤務に活かしスタッフにも伝えていこう。

❖中央地区での開催も予定しております。どうぞご参加ください。

次回開催　12月3日(水)　13:30～16:30

秋田県保健センター　５階第1研修室